

Wi-Fiカメラ 取扱説明書 HiP2PClientでパソコン運用編



最新更新日：2026年9月 第1版

Wi-Fi/SD録画カメラシリーズ説明書識別

D

本製品には、本書の取扱説明書は同封されておりません。以下のQRコードよりダウンロードしてご覧ください。

本書の役割

本書は、本機カメラとパソコンをネットワーク接続した際に、パソコンに管理ソフト「HiP2PClient」をインストールし、管理ソフト上で各種操作・設定、およびライブ映像・録画映像の確認を行うための「HiP2PClient」の取扱説明書です。

各取扱説明書ダウンロードQRコード・URL

A	取扱説明書 基本編		https://www.elexsystem.co.jp/manual/MANU_WF-A-CamHi-Registration.pdf
B	取扱説明書 CamHiメインメニュー編		https://www.elexsystem.co.jp/manual/MANU_WF-B-Camhi-mainmenu.pdf
C	取扱説明書 設置工事・仕様書編		https://www.elexsystem.co.jp/manual/MANU_WF-C-700series-kouji.pdf
本書 D	取扱説明書 HiP2PClientで パソコン運用編		https://www.elexsystem.co.jp/manual/MANU_WF-D-HiP2PClient.pdf
E	取扱説明書 パソコンでの録画映像の 再生方法編 (SDの中身をパソコンで 見る 方法を含む)		https://www.elexsystem.co.jp/manual/MANU_WF-E-パソコンview.pdf

販売会社：合同会社エレックスシステム お問い合わせ先：info@elexsystem.co.jp 電話：045-317-9873

©ELEX_SYSTEM LLC.,Ltd. All Rights Reserved.

目次

1.安全上のご注意（必ずお守りください）	P 4
2.免責事項	P 4
3. HiP2P_Clientインストール	P 6
4.基本設定	P 6
① 本機とパソコンをLANケーブルで直接接続し、本ソフトで映像を見る方法。	P 6
② 現在あるインターネット環境に対して、本機を追加接続し本ソフトで映像を見る方法。	P 9
5.本機カメラとの通信試験を行う	P 10
6.ソフト上へカメラ映像を反映させる	P 11
7.ライブ映像画面・メニューの説明	P 13
8.メインメニュー（画面上表示アイコン）	P 17
① プレビュー	P 17
② 自動設備追加	P 17
③ ローカル再生	P 17
④ リモート再生	P 18
⑤ 設定	P 21
1) 設備管理	P 21
2) パラメータ設定	P 24
● 映像設定	P 24
● 画像設定	P 26
● 音声設定	P 27
● 警報設定	P 27
● ネットワーク	P 29
● SDカード	P 30
● 定時スクショ	P 30
● PTZ	P 30
● 登録情報	P 30
● システム	P 31
● 無線接続	P 31
● 動き検知	P 32
3) 録画管理	P 33
4) アラーム管理	P 34
5) ユーザー管理	P 34
6) その他	P 35
⑥ ログ	P 35
⑦ ログアウト	P 35
⑧ システム終了	P 35
9.動き検知録画（動き検知録画）作動条件	P 36
10.動き検知録画（動き検知録画）設定方法	P 37
11.本機カメラアラーム作動時における画像メール送信機能の設定方法	P 38
12.本機のIPアドレスの変更（固定化）方法（上級者向け）	P 39

1.安全上のご注意（必ずお守りください）



警告事項

- ① 設置工事は電源工事が必要な場合もありますので、工事業者が行ってください。
- ② 異常が見られた場合には、全ての電源（コンセントを抜く等）を遮断して触れないようにしてください。
放って置きますと、火災の原因になります。
- ③ 分解しないでください。機器内部に人体が触れますと感電する可能性があります。
- ④ 水気・湿気・振動の多い場所に置かないでください。
- ⑤ 濡れた手で触れないでください。感電・火災の原因になります。
- ⑥ 不安定・転倒の恐れがある場所へは設置しないでください。
- ⑦ 雷の際の工事は直ちに中止してください。また配線の一切に触れないでください。
- ⑧ コード・ケーブル類の破損の恐れがある場所への配線は避けてください。
- ⑨ 電源プラグは確実に差し込んでください。また定期的にプラグの清掃をお願い致します。
- ⑩ 静電気には十分気を付けてください。特に冬季は故障の可能性が高くなる要因になります。



禁止事項

- ① 専用アダプタへの電源は必ず A C 1 0 0 V を接続してください。
- ② 機器へは必ず決められた電源を供給してください。
- ③ ケーブル類は必ず決められた太さのケーブルを使用してください。
感電・火災の原因になります。
- ④ 仕様表に基づく使用環境を遵守してください。
- ⑤ 記録媒体組込製品の為、震動・衝撃を与えないでください。

2.免責事項

何らかの原因で機器に異常が見られ、その異常に伴い記録内容が消去・破壊されてしまう場合があります。
この場合の損失・損害に等に関しては免責とさせていただきます。
また、この場合の記録内容の復旧・復元は行っておりませんので併せてご了承ください。

3. HiP2P_Clientインストール

HiP2P_Clientというファイル名のソフトウェアをパソコンにインストールして下さい。
ソフトは以下URLよりダウンロードしてください。

https://www.elexsystem.co.jp/soft/P2パソコンlient_Setup_v6.5.8.6.exe



← ダウンロードURLのQRコード

4.基本設定

本ソフトと本機を接続する場合、以下の2通りの方法があります。

① 本機とパソコンをLANケーブルで直接接続し、本ソフトで映像を見る方法。 → 本ページ下部より

② 現在あるインターネット環境に対して、本機を追加接続し本ソフトで映像を見る方法。 → 【P9】

① 本機とパソコンをLANケーブルで直接接続し、本ソフトで映像を見る方法。

ここでは以下の条件下である事が前提です。

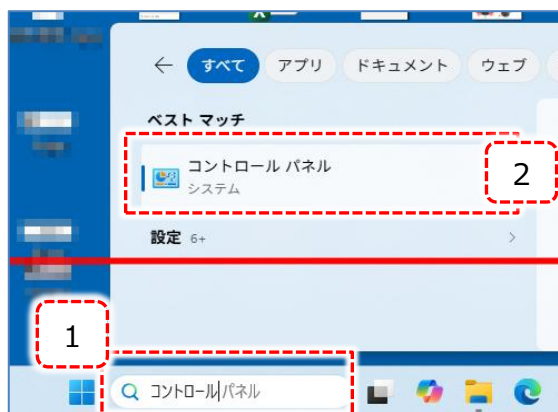
- 1) 本機1台がパソコンへ接続（当然ながらシステム的にはHUB経由で本機複数台可能です）。
- 2) 本機とパソコンはLANケーブル1本で接続。
- 3) 本機のIPアドレスは出荷時状態の「192.168.1.88」。
- 4) パソコンのOSはWindows11で。

※ 本機が複数台ある場合は本機のIPアドレスをすべて異なる値に設定する必要があります（上級者向け）。

- 3) 本機のIPアドレス変更（固定化）方法は【P39】-「12.本機のIPアドレスの変更（固定化）方法（上級者向け）」をご覧ください。

以下手順に従って、パソコン側のネットワーク設定を行います。

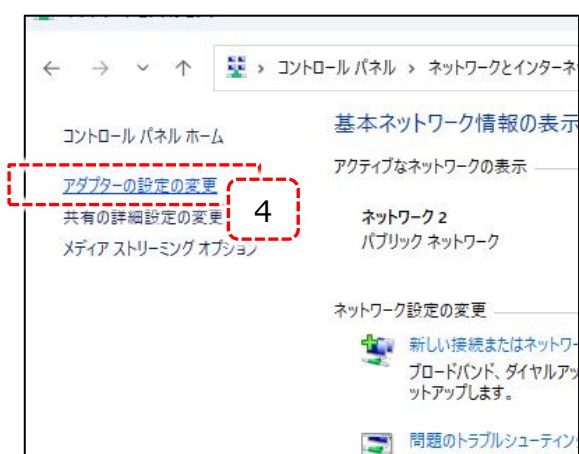
本機カメラを接続したパソコンのWindows上でコントロールパネルを開きます。
コントロールパネルの開き方は以下の通りの順番に操作・クリックしてください。



[1]の検索窓に入力すると[2]のように表示されるので[2]をクリックする。



[3]の「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックする。



[4]の「アダプターの設定の変更」を表示する。

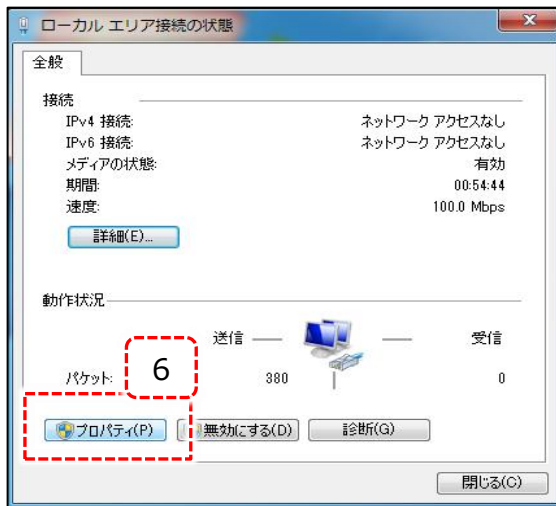


左写真の表示内容で本機が接続されているパソコンのLANポートを選択します。

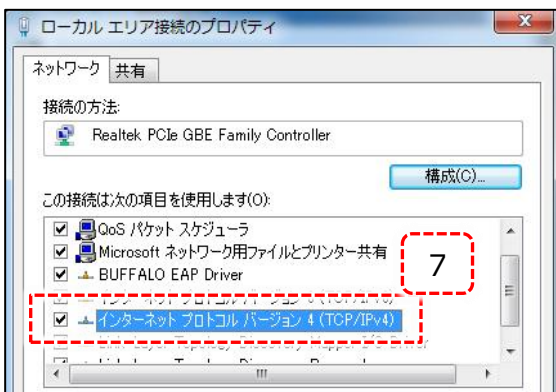
ここでは
本機（カメラ）→LANケーブル（HUB経由有無は無視）→パソコン
と想定してのご説明になります。

[5]内に「×」が付いていた場合、
接続先の本機が認識されていません。

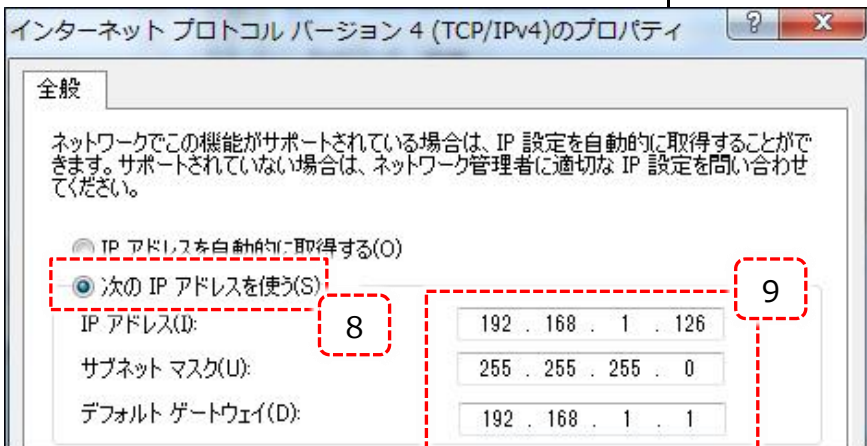
[5]をクリックしてください。



[6]の「プロパティ」をクリックします。



[7]の「インターネットプロトコルバージョン4・・・」をクリックしてください。



[8] : 「次のIPアドレスを使う」をクリックします。

[9] : IPアドレスに「192.168.1.126」と入力してください。
「126」の部分は基本任意です。但し、概ね「10～249」で入力してください。
サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力してください。
デフォルトゲートウェイに「192.168.1.1」と入力してください。

入力し終わったら、このウィンドウの下の「OK」をクリックします。

【P10】-「5.本機カメラとの通信試験を行う」に進んでください。

② 現在あるインターネット環境に対して、本機を追加接続し本ソフトで映像を見る方法。

ここでは以下の条件下である事が前提です。

- 1) 本機1台がパソコンへ接続（当然ながらシステム的にはHUB経由で本機複数台可能です）。
- 2) 本機とパソコンはLANケーブル1本で接続。
- 3) パソコンのOSはWindows11で。

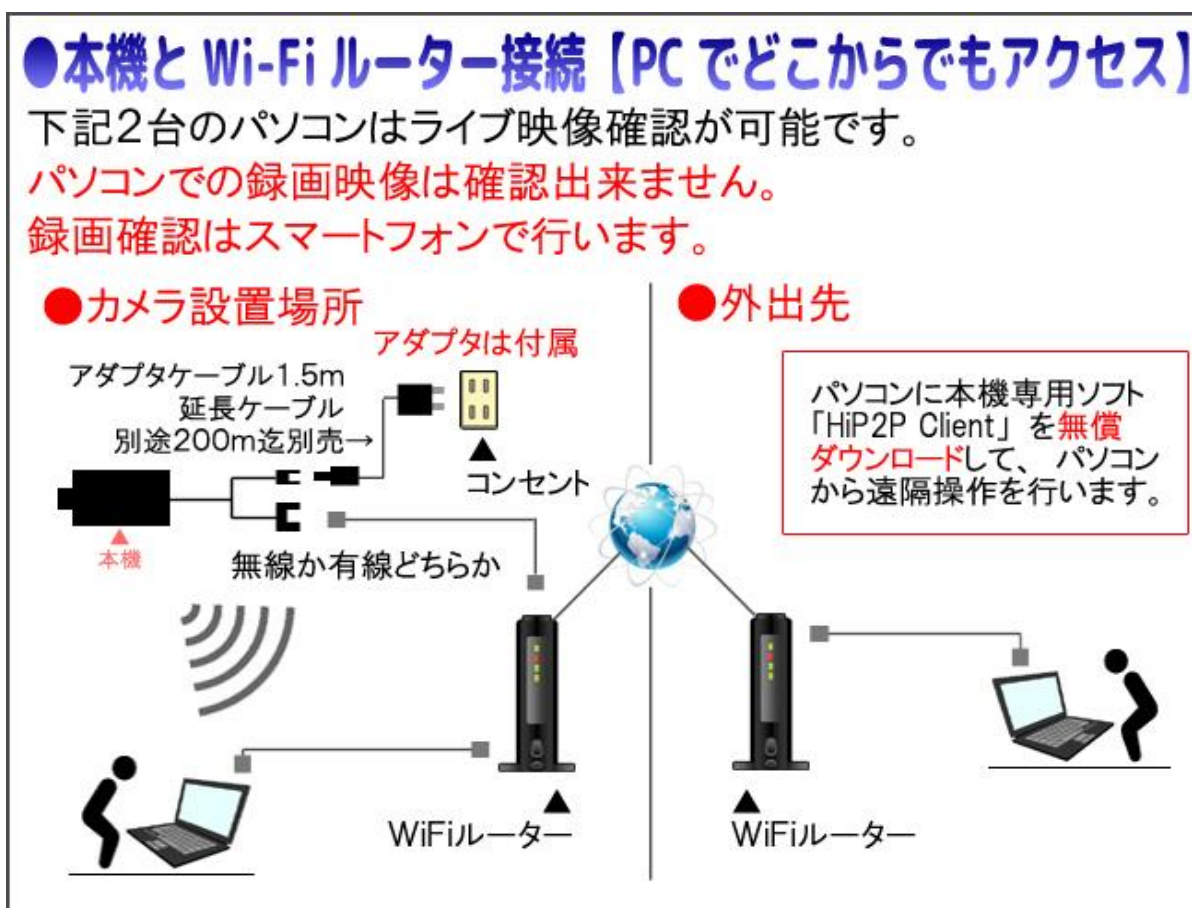
この3条件を満たせば準備完了です。

【P11】-「6.ソフト上へカメラ映像を反映させる」へ進んでください。

※ 本機が複数台ある場合は本機のIPアドレスをすべて異なる値に設定する必要があります。

- 1) ルーターと本機がWi-Fi接続されている場合はIPアドレスの概念は無視してください。
- 2) LANケーブルでルーターに接続する場合ですが、出荷時本機IPアドレスはDHCP（ルーターからの自動付与）設定になっておりますので、こちらに関してもIPアドレスの概念は無視してください。
- 3) 本機のIPアドレス変更（固定化）方法は【P39】-「12.本機のIPアドレスの変更（固定化）方法（上級者向け）」をご覧ください。

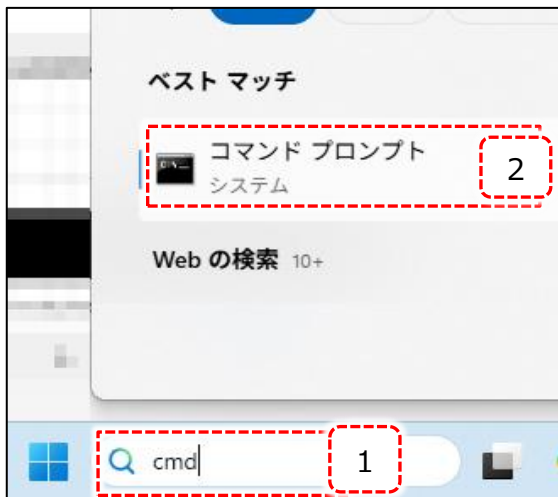
以下は本項に置ける全体接続イメージを示す配線図です。



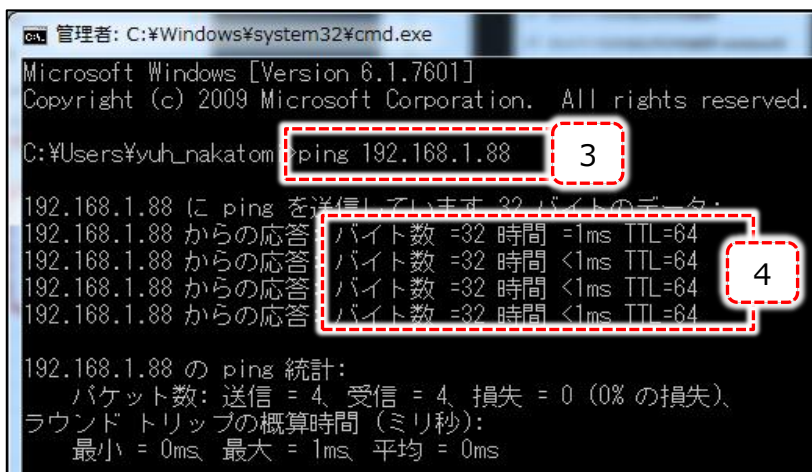
5.本機カメラとの通信試験を行う

本項は、

【P9】-「②現在あるインターネット環境に対して、本機を追加接続し本ソフトで映像を見る方」の設定を終えた後に実施する説明になります。



[1]の検索窓にと「cmd」入力すると[2]のように表示されるので[2]をクリックする。



[3]部分（「>」の後）に半角で「ping」と入力し、半角スペースを1つ入れて、英数字で本機のIPアドレスである「192.168.1.88」を入力し、エンターを押します。

※ ここで入力するIPアドレスは本機の試験しようとするIPアドレスを入力します。

従って、上記IPアドレスは本機出荷時設定になりますので、IPアドレスを変更した場合はそのIPアドレスを入力してください。

通信試験が正常な場合は[4]のように「バイト数=〇〇 ～ TTL=〇〇」というような数値が表示されます。

※ 〇〇の数字は、環境により変化します。

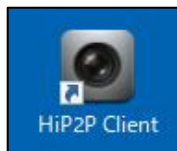
▼通信試験が失敗した場合

通信試験が失敗した場合、「宛先ホストに到達できません。」「要求がタイムアウトしました。」というような表示になります。表示になります。この場合は、

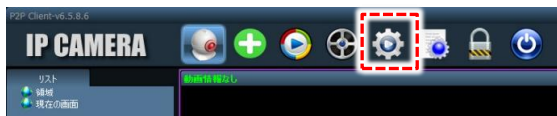
- ① 本機カメラのIPアドレスとpingで入力するIPアドレスは一致していますか？
- ② LANケーブルはきちんと接続されていますか？
- ③ 本機カメラに電源は入っていますか？

これらを確認して再度通信試験を行ってください。

6.ソフト上へカメラ映像を反映させる



【P6】-「3.HiP2P_Clientインストール」でインストールした「HiP2PClient」をWクリックして起動します。



画面上部の「設定」をクリックします。



ログインパスワードを求められたら、パスワード欄は空白のまま「はい」をクリックしてください。



画面右側に着目してください。

[1]の「UID番号入力」をクリックすると、「デバイス追加」ウィンドウが表示されます。以下の通り入力してください。

(※カメラを遠隔地に設置している場合でもこの設定で接続可能です。)

例：東京の事務所に本機カメラが設置されていてそのカメラはその事務所内のルーターに接続されている。
そして、今この設定を横浜の事務所のパソコンで設定しようとしている。

▼ UID番号

本機に貼られているシールの番号
大文字4文字-数字6桁-大文字5文字
を入力します。

▼ デバイス番号

「Camera」を選択します。

▼ 設備名称

任意にカメラ名称を設定できます。

▼ パスワード

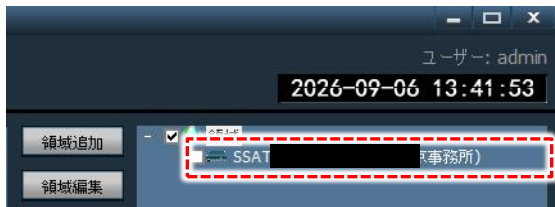
本機に設定されているパスワードを入力します。
初期設定は「admin」です。

▼ ユーザー名

「admin」を入力してください。

▼ エリア

「領域」を選択してください。



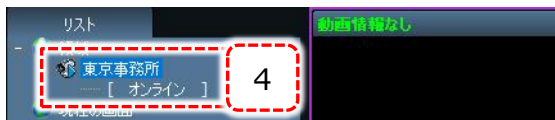
「領域」の下に、設定したデバイスが反映されました。



画面左上付近の[2]「プレビュー」をクリックしてください。



[2]の部分に設定したカメラ名称が反映されますので、ここを右クリックすると、メニューが表示されますので[3]の「設備に繋ぐ」をクリックします。



接続が成功すると[4]の部分が「オンライン」になります。



カメラ名称（東京事務所）を左クリック＆ドラッグ＆ドロップでカメラ映像を表示させたい、場所へマウスカーソルを移動させます。



成功すると上記[5]が[6]へ表示が変わります。そして、反映先のスペース（ブラックアウト部分）を右クリックして、[7]の「ハードデコード」をクリックすると映像が表示されます。

7.ライブ映像画面・メニューの説明

下記写真はプレビュー（ライブ映像表示・通常表示状態）の画面です。



[A] : メインメニュー

メインメニューになります。各種設定はこのメニューから行います。
【P17】-「8.メインメニュー（画面上表示アイコン）」を参照。

[B] : 画面操作



— : 画面のみをデスクトップ上から一時的に消去します。

□ : 画面を最大サイズに表示します。

× : 本ソフトを閉じます。

[C] : 時刻

本ソフトログインIDと現在日時を表示します。
本ソフトを起動しているWindowsの時刻と同期しています。

[D] : 状況表示灯

左から、



: [I]のマイクがONになっている時に点灯します。



: [I]のスピーカーがONになっている時に点灯します。



: 本機カメラの動き検知（動き検知）が作動・検知したとき、点灯します。

※ 一番右側マーク（左から4つ目）は未使用・未対応です。

[E] : カメラグループ・リスト

本ソフトウェアに反映・登録されているカメラ一覧です。【P21】-「1)設備管理」でカメラ名称の変更ができます。
以下はリスト中の表示説明です。



このマークは「オンライン」中を意味します。

本ソフトに正常に反映されていることを示します。

このマークと「つながっている」の組み合わせの場合は、
カメラ反映設定は本ソフトで認識しているが、接続先のカメラが無い
またはネットワークの何らかの不具合により、カメラ接続ができない
状態を示します。

カメラUIDを示します。

[F] : PTZ/プリセット

サポートされていない為、使用できません。

[G] : 色彩

ライブ映像の色などを調整します。

ライブ映像上で色調整するカメラをクリックして選択状態にします。

上から、

- ① 明るさ
- ② コントラスト
- ③ 色相
- ④ サポートされていない為、使用できません。

です。

「垂直反転」はライブ映像を上下反転、

「水平反転」はライブ映像を左右反転します。

「設定値の初期化」は色設定を初期状態に戻します。

[H] : デジタルズーム



: [N]ライブ映像上でこの機能を使用するカメラ映像をクリック選択（画面紫枠を移動・付与）してください。
そして、左記アイコンをクリックして[N]のライブ映像の中で、デジタルズームさせたい場所をマウスドラッグすると、
その部分がズームされます。

戻すときはライブ映像の中で、クリックをしてから[H]をクリックしてください。

[I] : スピーカー・マイク

ライブ映像上でこの機能を使用するカメラ映像をクリック選択（画面紫枠を移動・付与）してください。



： スピーカーマークをクリックすると、スピーカーマークの×が消え、スライダーの音量ボリュームが有効になります。このスライダーボリュームとパソコン自体の音量ボリューム調整でカメラ内蔵の集音マイクで集音された音声を聞く事ができます。

使用中は【P13】-【D】（詳細説明は【P14】-【D】）のスピーカーマークが点灯します。



： パソコンにマイクを接続し、これをクリックするとカメラ内蔵スピーカーから話した声を出力できます。

使用中は【P13】-【D】（詳細説明は【P14】-【D】）のマイクマークが点灯します。

【P27】-【●出力音量】で調整します。

[J] : ローカル録画・スナップショット

ライブ映像上でこの機能を使用するカメラ映像をクリック選択（画面紫枠を移動・付与）してください。



： 現在操作しているパソコンのハードディスクにカメラ映像を録画します。

設定・詳細は【P33】-【3】録画管理をご覧ください。



： 現在操作しているパソコンのハードディスクにカメラライブ映像をスクリーンショットします。

クリーンショット画像の保存先設定は【P35】-【6】その他をご覧ください。

[K] : ライブ映像操作

ライブ映像上でこの機能を使用するカメラ映像をクリック選択（画面紫枠を移動・付与）してください。



① ② ③

① 多画面分割表示

1・4・6・8・9・16分割選択画面が表示されますので選択するとその分割画面に[N]ライブ映像が切り替わります。

② [N]ライブ映像最大サイズ化

③ [L]の表示／非表示を切り替えます。

[L] : 接続状態表示

現在、本ソフトの作動状況一覧です。

[M] : ポップアップメニュー

[N]ライブ映像で右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

全画面表示 : モニター全域にライブ映像が表示されます。

自動調整 : ライブ映像画面比を自動調整します。

ショートカット : 使用しません。

非表示 : 選択状態のライブ映像（紫色の枠が表示されている画像）の映像を一時的に遮断します。
映像を復旧するには、[E]の表示させたいカメラのUIDをWクリックします。

状態欄を表示 : [D]の表示ON/OFFを行います。

[N] : ライブ映像

本ソフトに反映されている、カメラのライブ映像です。

[O] : UID

映像表示しているカメラのUIDです。

[P] : カメラ型番

映像表示しているカメラの型番です。

(機種・バージョンにより異なる表示の場合があります。)

8.メインメニュー（画面上表示アイコン）

【P13】-「7. ライブ映像画面・メニューの説明」[A]のアイコンのメインメニューの説明です。

① プレビュー



これをクリックすると、【P13】-「7.ライブ映像画面・メニューの説明」画面が表示されます。

② 自動設備追加

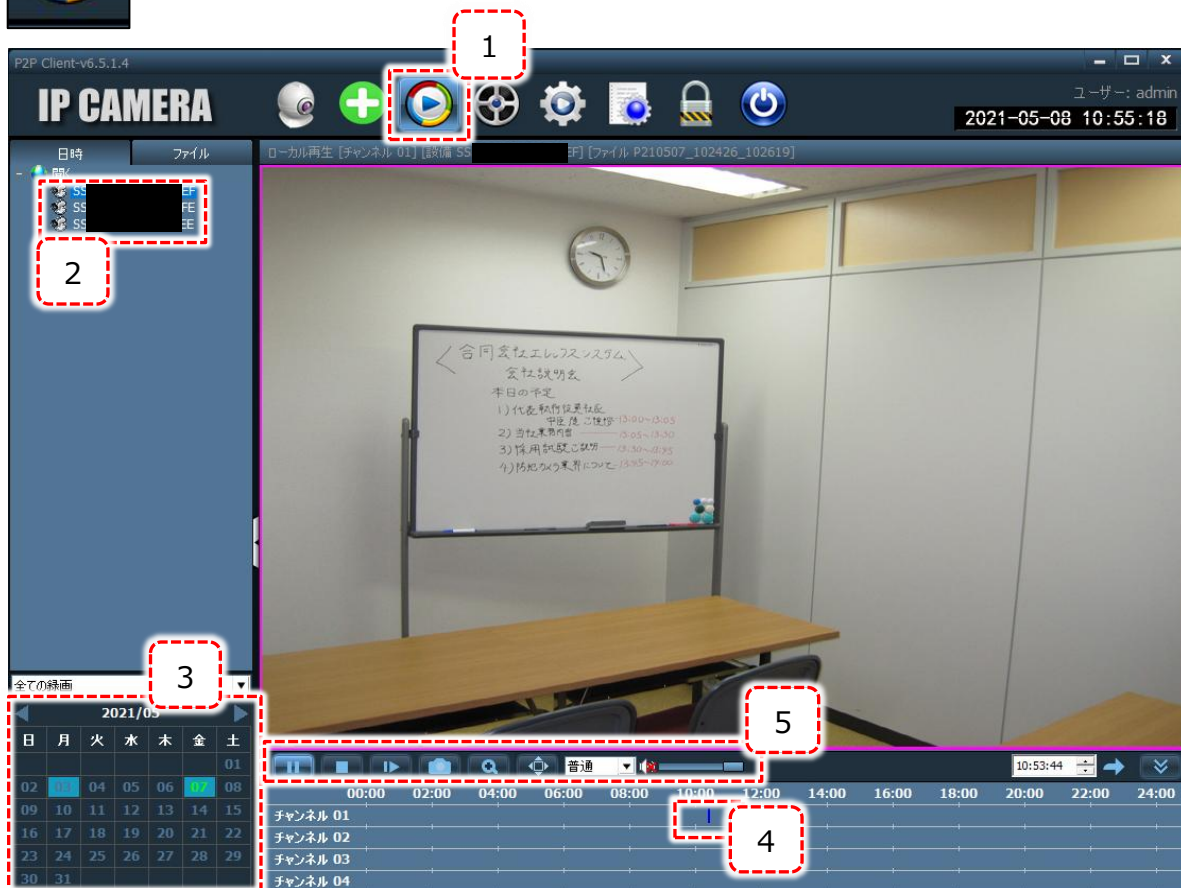


パソコンにローカルネットワーク的に接続している本機を、本ソフトに自動反映させます。
ローカル接続に限定するメニューになります。
このアイコンをクリックした後の操作は【P11】-「6.ソフト上へカメラ映像を反映させる」と同様です。

③ ローカル再生



【P13】-[J]（左側カメラマーク）でローカル録画（パソコンへ録画）された映像を再生する事ができます。
以下に手順を説明します。



[1]：「リモート再生」をクリックします。

[2]：ローカル再生するカメラを選択します。

[3]：ローカル再生する年月日を選択します。

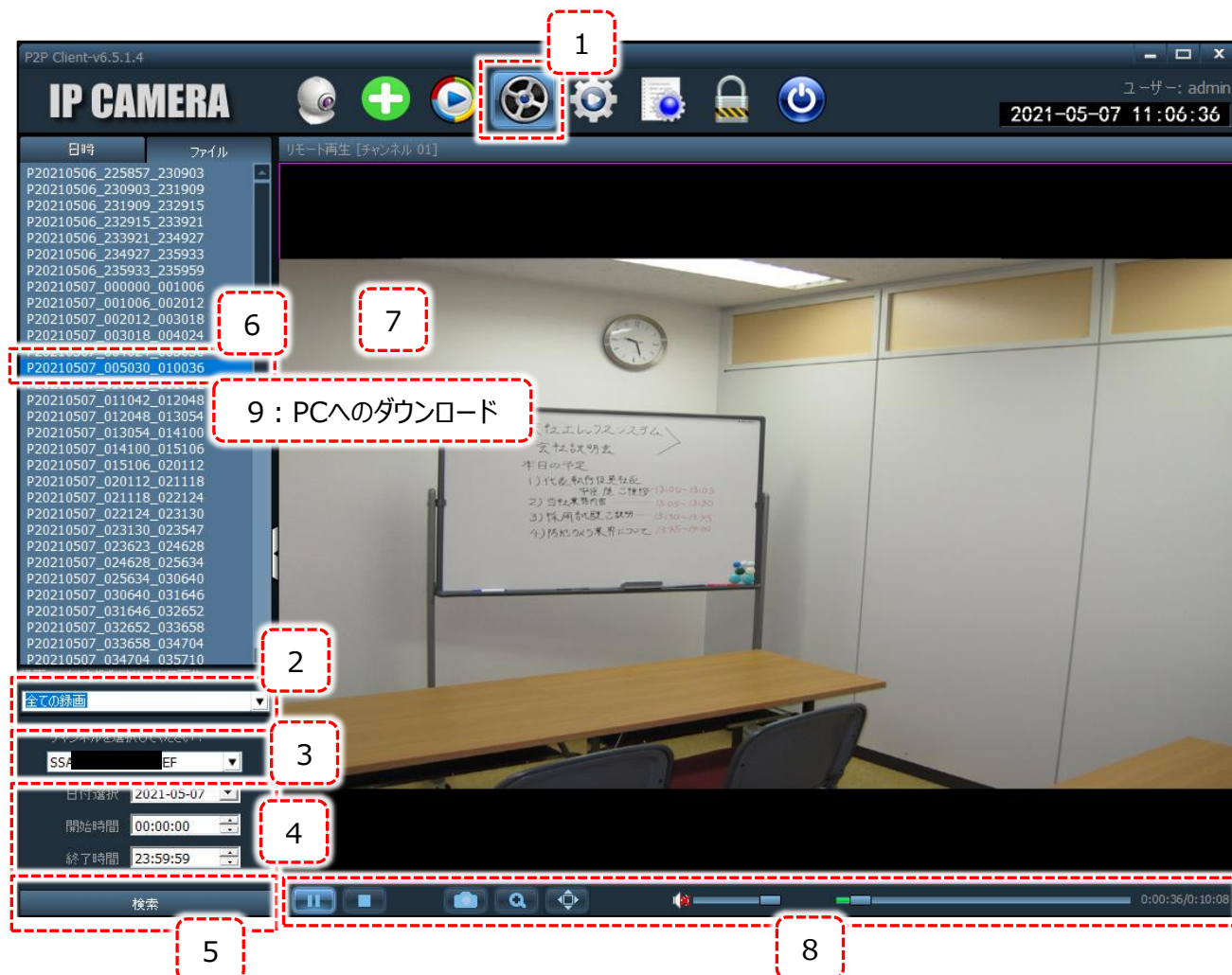
[4]：[3]に対して録画記録がある場合、このように青色明示されますのでこの部分をクリックすると、ローカル再生されます。

[5]：ローカル再生を操作するツールです。詳細は【P18】-[8]をご覧ください。

④ リモート再生



本機カメラに装着されているmicroSDカードに記録されている録画映像を再生、録画映像のパソコンへのダウンロードができます。



[1] : 「リモート再生」をクリックします。

[2] : 録画形態種別を選択できます。

- ・ 全ての録画 全ての録画データを検索対象にします。
- ・ モーション録画 動き検知録画（動き検知録画）のみを検索対象にします。

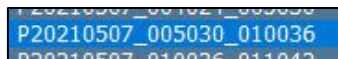
[3] : 本ソフトに接続・反映されているカメラの中から、録画データを見たいカメラを選択します。

[4] : 録画映像を見たい期間を設定します。年・月・日・開始時間・終了時間の5点を指定します。

[5] : 「検索」をクリックすると[2]～[4]で指定した条件の録画映像データを検索します。

[6] : 検索結果を表示する録画映像データの一覧表です。

上記写真例では



を選択しようとしてますが、このファイル名の意味ですが

P	=	通常録画	(Aの場合はアラーム録画(動き検知録画など))
2021	=	録画された西暦	
0507	=	5月7日	
005030	=	この録画映像データの録画始まり時間	(00時50分30秒という意味)
010036	=	この録画映像データの録画終わり時間	(01時00分36秒という意味)

になります。

この見方で、検索・抽出された**録画データの中で更に見たい時間帯をWクリックします。**

[7] : 録画映像が再生された映像が表示されます。

[8] : 再生映像を操作するツールになります。



録画映像の再生を開始します。



録画映像の再生を停止します。



録画映像の再生を一時停止します。



今現在[7]に表示されている瞬間をスナップショットして画像として保存します。
クリーンショット画像の保存先設定は【P35】-「6)その他」をご覧ください。



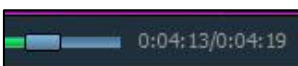
これをクリックして[7]の中で、デジタルズームさせたい場所をマウスドラッグすると、その部分がズームされます。戻すときはライブ映像の中で、クリックをしてから同アイコンをクリックしてください。



再生映像を最大サイズ化します。

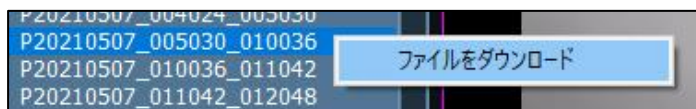


録画映像で音声も録音されている場合、音声出力のON・OFF・音量操作です。

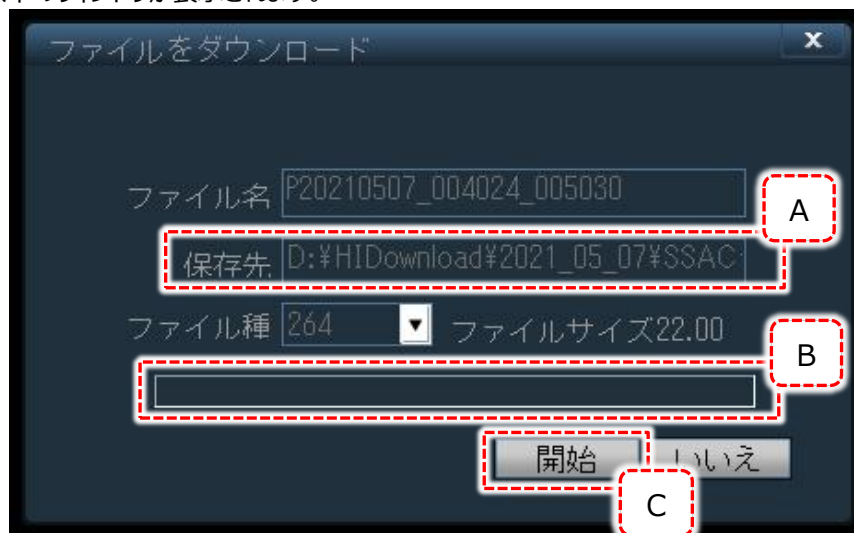


再生中の映像の時間を任意に推移・ジャンプさせるスライダーです。

- [9] : 録画映像データは本ソフトを操作しているパソコンにダウンロードすることができます。
 下記写真のようにダウンロードするデータをクリックしてください。
 (複数ファイル指定する場合は、パソコンキーボードの[Ctrl]キーを押しながら、他ファイルをクリックしてください)
 すると「ファイルをダウンロード」というポップアップが表示されますので、それをクリックしてください。



以下のウィンドウが表示されます。



この表示の中で[A]の保存先ですが【P33】-「3」録画管理」[7]のドライブ指定に連動します。

この「録画確認」のドライブ指定の中で

システムドライブとそうでないドライブ両方チェックボックス付与状態 = システムドライブが[A]に指定される
 システムドライブでないドライブのみにチェックボックス付与状態 = チェック付与のドライブが[A]に指定される

になります。

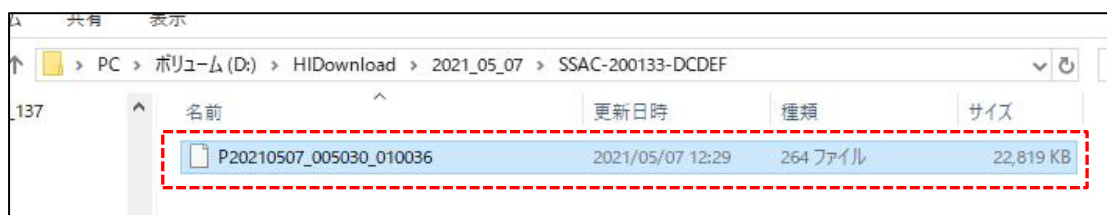
※ ドライブのあとのパス名は

HIDownload¥ = 固定
 2021_05_07 = ダウンロードした日付
 SSAC... = ダウンロード元のカメラUID

です。

これらを確認して[C]「開始」をクリックすると、ダウンロードが始まり[B]の青色メーターが進捗と共に左側に伸びていきます。

完了して、ダウンロード先のパソコンフォルダを見ると、録画データがダウンロードされています。



パソコン上での録画データ再生方法は別紙（ダウンロード）、
 取扱説明書・パソコンでの録画映像の再生方法編（SDの中身をパソコンで見る方法を含む）【E】
 をご覧ください。

⑤ 設定



録画設定などのスケジュール関係など、メイン設定に関わる部分の設定項目になります。

1) 設備管理

本機映像を本ソフト上への反映のさせ方は、
【P11】-「6.ソフト上へカメラ映像を反映させる」
をご覧ください。ここでは、

A) カメラ名称変更

B) カメラリストからの削除

の2つの機能について説明します。

A) カメラ名称変更

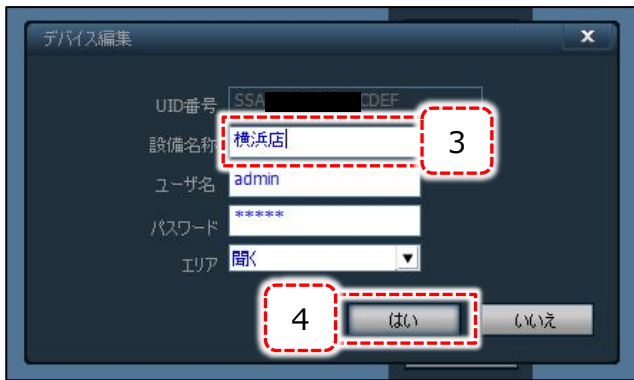
【P13】[E][カメラリスト]で表示されているのはUIDですがこれだと、カメラが複数台ある場合、識別し難いというデメリットがあります。

そこでカメラ名称を任意で変更する事が可能です。

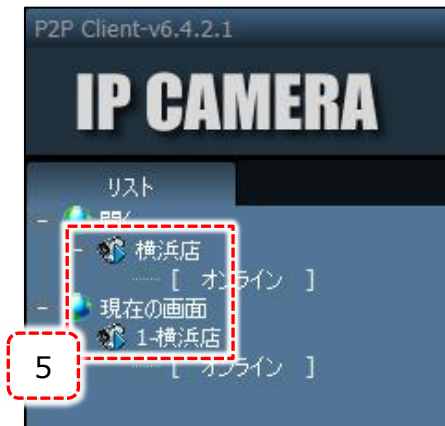


画面上部アイコン「設定（歯車マーク）」
をクリックします。
左写真のように

- [1] 名称変更するカメラのチェックボックスにチェックを入れます。
- [2] 「設備編集」をクリックします。



[3] 任意の名称を入力します。
[4] 「はい」をクリックします。



【P17】-「①プレビュー」をクリックすると左写真のようにカメラリスト上のカメラリストに変更が反映されます。

B) カメラリストからの削除

カメラリストから削除する方法です。

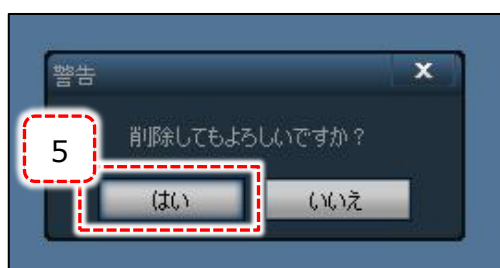


[1] カメラリストから削除しようとするカメラを右クリックします。
[2] 「接続を切る」をクリックします。



[3] 削除するカメラのチェックボックスにチェック入れます。

[4] 「設備削除」をクリックします。



[5] 「はい」をクリックします。

これでカメラリストからカメラが削除されます。

2) パラメータ設定

「カメラライブ映像・録画映像」

「動き検知（動き検知録画）」

SDカードに関する設定項目です。

この設定を行うには以下写真のように[1]から[4]の順にクリックしてください。

特に[3]のカメラは必ず選択してください。



● 映像設定

※ 設定を行うカメラを選択（[P24][3]にて）してから各設定を行ってください。

● エンコード

○ 頻度

初期設定は50Hzです。万が一、ライブ映像がちらつく場合、60Hzに変更してみてください。

○ エンコード

通常「baseline」で設定してください。

● 録画パラメーター

ストリーム形式で「メインストリーム」「サブストリーム」で切替えて本項の設定を行います。
通常は「メインストリーム」に切り替えて「メインストリーム」について設定してください。

- 解像度 通常「1920*1080」です。
(これは200万画素を意味し、ライブ映像と録画映像はこの設定値が反映されます)
- ストリーム形式 「メインストリーム」に切り替えて本項設定を行ってください。
- ビットレート 準画質設定的な値になりますが通常、初期設定値1000より変更しないでください。

この数字が多ければ多いほど、細かい映像が録画・ライブ映像表示されます。
但し、SD消費量はこの値が高いほど多くなります。
- キーフレーム
間隔 通常、初期値の「50」で運用してください。
- レート制御モード 通常、初期値の「可変・・・」で運用してください。
- レート品質 画質設定です。
1 = 最高 、 6 = 最低 です。
但し、SD消費量はこの値が高いほど多くなります。

● OSD設定

- OSD日時 ライブ映像上に日時表示をON/OFFかの設定です。
- OSD名称 ライブ映像上にカメラ名称をON/OFFかの設定です。
- OSD名称 任意のカメラ名称を入力します。
(初期設定ではカメラ型番が割り当てられています)

● 画像設定

※ 設定を行うカメラを選択（[P24][3]にて）してから各設定を行ってください。

● 画像表示

- ワイドダイナミック 映像内に明るい場所・暗い場所があった場合、自動的に調整する設定です。
チェックボックスを入れた状態で有効です。
ドロップダウンリストの数字は高い値程、調整強度が増しますが逆に映像が乱れる場合は数値を下げてください。
- 露出モード 通常は「自動」で設定してください。
- 画像優先モード 通常は「フレーム優先」で設定してください。
- 赤外線ライトモード 本機カメラは設置環境が暗いと判断した時、映像を白黒にして本機カメラより赤外線LEDを発光します。
本機カメラが設置環境が暗いと判断した時の動作を設定します。

自動 : 映像は白黒に切替る
ON : 設置環境に関係なく白黒映像を保持
OFF : 設置環境に関係なくカラー映像を保持

赤外線LEDのON/OFFは設定できません。
映像が暗いまたは薄暗い場合は、カメラ特性より映像は白黒の方が被写体を鮮明に映し出します。
- インテリジェントナイトモード 本機カメラは設置環境が暗いと判断した時、映像を白黒にして本機カメラの赤外線LEDを発光します。
本機カメラが設置環境が暗いと判断した時の動作を設定します。

普通の夜目 : 通常はこちらを設定（白黒映像）

カラーナイト : 夜間でもカラー映像（カラー映像）

インテリジェントナイトモード : 普通の夜目よりやや鮮明（白黒映像）
- 純白の光制御 使用しません。
- スマート追跡 使用しません。

● 音声設定

※ 設定を行うカメラを選択（【P24】[3]にて）してから各設定を行ってください。
カメラ内蔵の集音マイク及び音声出力スピーカーの音量設定に関する項目です。

● ストリーム形式

音声进行操作する映像ストリームを選択して以下の設定を行います。
通常は「メインストリーム」について設定してください。

● 音声収録

カメラ内蔵の集音マイク機能のON/OFFを設定します。
対応シリーズカメラは自動的に録音もされていますが、ここでOFFにすることにより、録音もOFFになります。

● 音声圧縮方式

通常「G711」のままで運用してください。

● 音声入力方式

通常「マイク入力」のままで運用してください。

● 入力音量

音声収録が「ON」の場合、カメラ内蔵の集音マイクのベース音量ボリュームになります。
数値が多いほど、音量は大きくなります。

● 出力音量

音声収録が「ON」の場合、マイク音声の音量ボリュームになります。
数値が多いほど、音量は大きくなります。

● 警報設定

※ 設定を行うカメラを選択（【P24】[3]にて）してから各設定を行ってください。
動き検知（動き検知）なアラーム系動作設定を行います。

● 動き検知

○ 動き検知

映像上に何か動きがあった場合の検知のON/OFFの設定です。
動き検知させる場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。
変更内容を保存するには直近の「適用」をクリックしてください。
※ 動き検知録画の設定方法は【P37】をご覧ください。

○ 感度

動き検知感度の設定です。通常は「普通」で設定してください。
※ 動き検知録画の設定方法は【P37】をご覧ください。

● スマートアラーム（ヒューマンノイドアラーム）



ご注意

「動き検知系設定」と同時使用はできません。

動き検知は映像上に何か動きがあった場合に検知する方式ですが、これに対しスマートアラームは、人間のみを検知します。以下は設定方法です。

○ スマートアラーム

本機能のON/OFFを設定します。

○ 人間の形を作る

当設定を反映させたい場合は、ONに設定してください。

○ アラーム形成

通常は「連合」を設定してください。

● 音声アラーム 使用しません。

● 外部アラーム 使用しません。

● アラーム連動 ※ 設定を保存・反映させるには「適用」をクリックしてください。
本項設定で「●動き検知」「●スマートアラーム」の設定が有効・作動した場合
本機カメラがどのような動作を行うかの設定です。



ご注意

「動き検知系設定」と同時使用はできません。

○ メールに画像を添付して送付 詳しくは【P38】-「11.本機カメラアラーム作動時における画像メール」
送信機能の設定方法」をご覧ください。

○ FTPサーバーに画像を保存 任意でサーバー箇所を指定して、画像を保存します。

○ FTPサーバーに動画を保存 任意でサーバー箇所を指定して、動画を保存します。

○ 中継器出力 使用しません。

○ SDカードに画像を保存 上記の【P27】-「●動き検知」をONの場合、本機カメラが動き
検知した場合、カメラ内蔵させているmicroSDカードに動き検知
した瞬間の画像を保存します。
※ 動き検知録画の設定方法は【P37】をご覧ください。

○ SDカードに動画を保存 同上でこの設定は動画を保存します。
※ 動き検知録画の設定方法は【P37】をご覧ください。

○ 警報音 警報音（サウンドより3種類のうち1つ選択）を本機カメラの
スピーカーより出力します。
持続時間で警報音の鳴動時間を設定します。

○ アラームプリセット 使用しません。

○ アラーム日時 上記で設定したアラーム関連の設定を
「毎週何曜日の何時に作動させるか？」
という設定を行います。
マウス右ドラッグで作動曜日時間を緑色に塗ります。
緑色を解除したい場合もマウス右ドラッグです。
設定を反映させたい場合は直近の「はい」をクリックします。
※ 動き検知録画の設定方法は【P37】をご覧ください。

● ネットワーク

※ 設定を行うカメラを選択（【P24】【3】にて）してから各設定を行ってください。

ここでは本ソフトで接続・反映しているカメラのIPアドレスなどのネットワーク情報を確認することができます。
本項設定項目は殆どの場合、IPアドレスの変更・確認がメインになります。
ここではIPアドレス変更方法を説明します。
まず、以下のように項目選択してください。

画面上部の「設定（歯車マーク）」をクリック → 左サイドメニュー「パラメータ」をクリック
→ 「パラメータ」右横のカメラリストのIPを変更するカメラをクリック[1] → 「ネットワーク」をクリック[2]



※ 本項設定項目の「RTSPポート」「ONVIF」の説明は割愛致します。

- [3] 両方のチェックボックスを外します。
- [4] 変更後の値を入力します。
- [5] 記載の通りの数値を入力します。
- [6] 「適用」をクリックします。
入力値が適正だった場合、「設定成功」の旨の表示がポップアップ表示します。

● IPアドレス変更に伴うルール・考え方

IPアドレスは以下のように分類して考えます。
（初心者の方向けのご説明になります。中～上級者の方は読み飛ばしてください。）

192.168.1.88 →
 192 = 変更不可
 168 = 変更不可
 1 = セグメント（グループ番号とお考え下さい）
 88 = ホスト（グループ番号直下の枝番号とお考え下さい）

○変更ルールその1 【P8】でパソコンのIPアドレスを決めましたが、ここでのセグメントは「1」です。従ってカメラ側IPアドレスのセグメントはすべて「1」でなければなりません。セグメントを「2」にする場合は、本ソフトに関係する機器のセグメントはすべて「2」に変更する必要があります。

○変更ルールその2 ホストは
 1)本ソフトに関係する機器のホストは重複してはいけません。
 2)上記の「ゲートウェイ」「優先・代替DNS」と重複してはいけません。
 3)強制ではありませんが概ね10～249の間の値を選定する。
 この3つすべての条件を満たす必要があります。

この2つのルールを基準にIPアドレスを決定します。

● SDカード

※ 設定を行うカメラを選択（【P24】[3]にて）してから各設定を行ってください。
カメラに内蔵したmicroSDカードへの録画仕様を設定します。

- スケジュール
録画を有効に
録画ON/OFFの設定です。
必ずON（チェックボックスにチェック）状態にしてください。
- ストリーム形式
「メインストリーム」を選択してください。
- 録画長さ
録画ファイル 1 ファイルの長さ（時間）を設定します。
通常 1 ファイル600秒（10分）です。
- SDカード合計容量
カメラに内蔵させたmicroSDの最大容量が表示されます。
- SDカード空き容量
今現在の空き容量が表示されます。
- フォーマット
カメラに内蔵させたmicroSDを初期化します。
- 録画スケジュール
（グラフ）
録画を「毎週何曜日・何時」に行うかどうかの設定です。
マウス右ドラッグで録画日時間を緑色に塗ります。
緑色を解除したい場合もマウス右ドラッグです。
設定を反映させたい場合は直近の「適用」をクリックします。

● 定時スクショ

※ 設定を行うカメラを選択（【P24】[3]にて）してから各設定を行ってください。
カメラ内microSDカードまたはFTPサーバーへ、設定した秒間隔でカメラ画像をスクリーンショットして保存します。

- SDカードに画像を保存
チェックボックスにチェックを入れると、カメラ内microSDカードへ、設定した秒間隔でカメラ画像をスクリーンショットして保存します。
また
「SDカードにスクショ間隔」
で設定した秒数感覚でスクリーンショット画像がmicroSDカードへ保存されます。
- FTPサーバーに画像を保存
同上で保存先はFTPサーバーになります。

● PTZ

使用しません。

● 登録情報

※ 設定を行うカメラを選択（【P24】[3]にて）してから各設定を行ってください。

本機カメラのカメラパスワードを変更することができます。

● システム

※ 設定を行うカメラを選択（〔P24〕〔3〕にて）してから各設定を行ってください。

● 時刻設定

○ ネットワーク
時刻同期
(NTP)

下記3項目設定をON/OFFなのかを設定します。

○ NTPサーバ

本機カメラが最終的にルーターに接続されている場合、外部機関のNTPサーバーを選択し、そのサーバーと時刻同期させます。

○ 同期間隔

同期させる間隔を設定します。「1」記載の選択項目は間隔1時間を意味します。

○ タイムゾーン

本機カメラが設置されている場所を設定します。
「UTC +8:00 大阪・札幌・東京」
を通常選択してください。

● 設備情報

本ソフトに接続されているカメラ情報です。

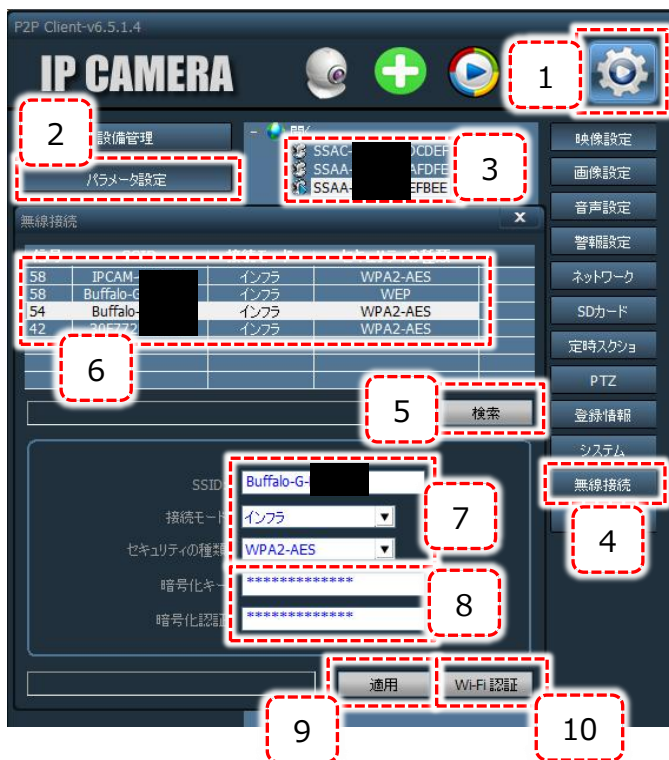
● 無線接続

※ 設定を行うカメラを選択（〔P24〕〔3〕にて）してから各設定を行ってください。

本ソフトに接続・反映されているカメラの中で、左記シリーズのカメラがある場合、これを無線ルーターへWi-Fi接続する設定です。

但し、本ソフトへ接続してあるネットワーク状態はローカル接続である事が前提です。

以下にその手順の説明です。



[1]～[5] の順にクリックすると、[6] にカメラが検知したWi-Fi (SSID) 一覧が表示されます。

接続したい SSID を選択すると、[7] に情報が自動入力されます。

[8] にWi-Fiの暗号化キー（パスワード）を上段・下段に入力します。（
（ルーター本体のラベル等をご確認ください）

[9]「適用」をクリックし、「設定に成功しました！」と表示されたら、[10] をクリックしてカメラとルーターの紐付けを開始します。

[10]をクリックすると、カメラと無線ルーターの紐付けが開始されます。
紐付けが完了すると
「Wi-Fi設定に成功チェックを入れてください！」と表示されれば設定成功です。

この直後、カメラのLANケーブルは抜いてください。

この時点でこのカメラの本ソフトへの接続ルートは

設定前 カメラ → LANケーブル → パソコン（本ソフト）

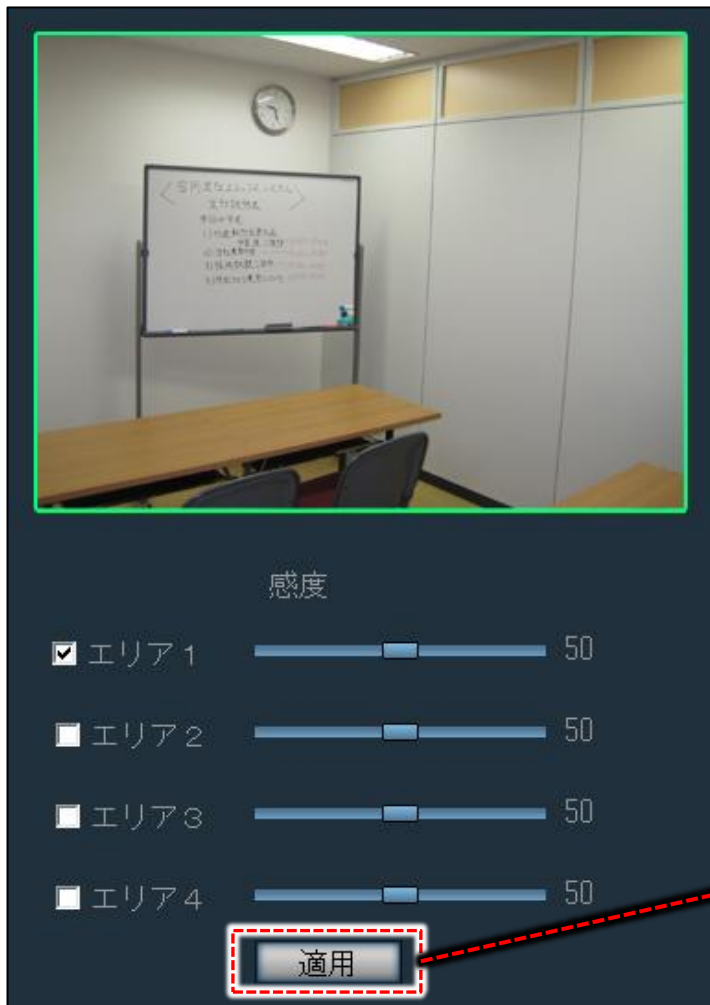
設定後 カメラ → Wi-Fi電波 → 無線ルーター → パソコン（本ソフト）

になります。

● 動き検知

※ 設定を行うカメラを選択（【P24】[3]にて）してから各設定を行ってください。

動き検知録画（動き検知録画）を行うにはこの項目の設定の他、いくつかの設定も組み合わせる必要がありますので、詳しくは【P37】-「10.動き検知録画（動き検知録画）設定方法」をご覧ください。



表示されていない場合は、ウィンドウサイズを拡大または最大にすると表示されます。

動き検知エリアの設定を行います。

カメラ1台（1映像に付き）4カ所、検知エリアを設定できます。

エリア1～4のチェックボックスの何れかにチェックを付与すると、上部カメラ映像に緑枠が表示されます。

この緑枠の右下端にマウス矢印を合わせると、マウス矢印が両矢印に変わります。

この状態でマウスクリックでドラッグすると、緑枠を拡大・縮小できるので、これで検知エリアを設定します。

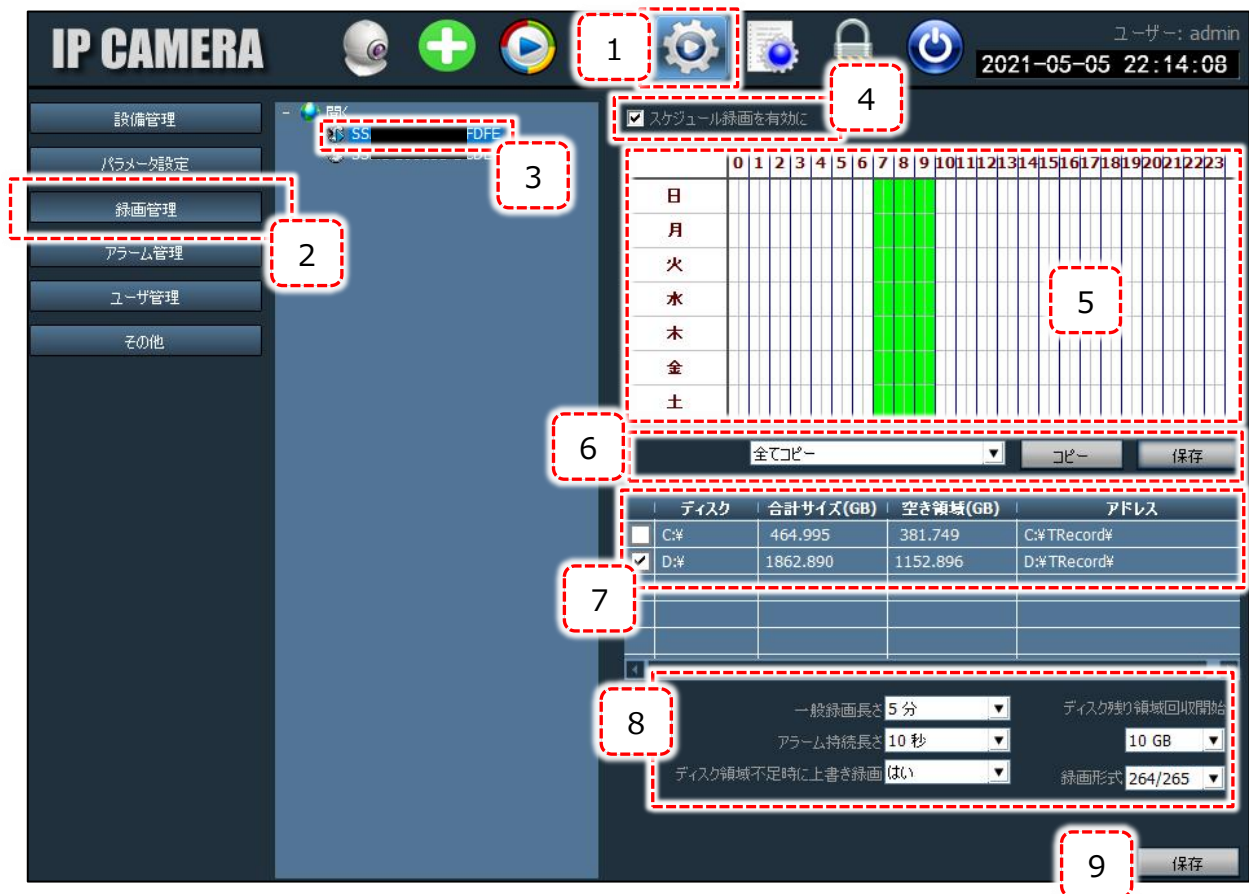
また「感度」は検知エリア内で動き検知する強度を設定します。

通常は「50」で運用してください。

最後に「適用」をクリックして保存します。

3) 録画管理

本ソフトを操作しているパソコンのハードディスクに本機カメラ映像を録画（ローカル録画）する設定です。
以下写真より、設定手順の説明です。



[1]→[2]→[3]（設定するカメラ選択）→[4]（スケジュール録画を有効に：チェックボックスにチェック付与）

[5] : ここでローカル録画を行う時間帯を指定します。
マウスの左ドラッグで緑色で塗られる部分がローカル録画する時間帯です。
上記写真例では

日曜日～土曜日（毎日）の7時～9時までローカル録画を行う

という設定になります。

[6] : ドロップダウンリストより「全てコピー」を選択して「コピー」をクリックすると、すべてのカメラに今現在設定している
[5]をコピーする事ができます。
そして「保存」をクリックすると設定保存できます。

[7] : どのローカルディスクに保存するかを設定します。
上記写真例では「D:¥」に保存する設定になります。

[8] : ○ 一般録画長さ 録画ファイル1 ファイルの長さになります。
○ アラーム保持長さ 使用しません。
○ ディスク領域・・・ [7]で設定したHDDが満タンになったとき、上書きするか否かを設定します。
○ ディスク残り・・・ ローカル録画しようとするHDDの容量・範囲を決めておきます。
○ 録画形式 通常は「264/265」を設定してください。

4) アラーム管理

動き検知時などのアラーム系作動したとき、パソコンにローカル録画をする機能です。

5) ユーザー管理

本ソフトウェアのログインパスワードを変更したり、操作制限ユーザーを追加したりします。
ここでは、通常で使用するadminユーザーでのパスワードの変更方法です。

The screenshot shows a web interface for user management. On the left, a table lists users with columns 'ユーザー' (User) and '権限' (Permission). The 'admin' user is selected, indicated by a red dashed box and the number 1. On the right, a form titled 'メモ' (Memo) is shown for editing the selected user. The form contains fields for 'ユーザー名' (Username) set to 'admin', 'パスワード' (Password), 'パスワード確認' (Password Confirmation), and '権限' (Permission) set to 'admin'. A red dashed box and the number 3 highlight the password fields. At the bottom, there are buttons for '追加' (Add), '編集' (Edit), '削除' (Delete), '保存' (Save), and 'いいえ' (No). A red dashed box and the number 2 highlight the '編集' button. A red dashed box and the number 4 highlight the '保存' button. A red dashed box and the number 5 highlight the '追加' button.

- [1] : adminユーザーをクリックします。
- [2] : 「編集」をクリックします。
- [3] : 新しいパスワードを「パスワード」「パスワード確認」に入力します。
- [4] : 「保存」をクリックします。

ユーザー名変更を行うには[5]をクリックしてユーザー名より以下を選択します。

- admin : 操作制限は一切ありません。
- user : 設定変更などができません。
- guest : 操作制限は本項設定のみです。

そして[3][4]と操作してください。

6) その他

通常、設定・変更せずに運用してください。また下記写真点線枠の「スクショ保存先」ですが、

① 【P13】-「7.ライブ映像画面・メニューの説明」【J】内カメラマーク

② 【P18】-「8」内カメラマーク

でのスクリーンショット時の画像の保存先になります。

保存先に自動的に「Snap」フォルダが自動生成され、その中に画像が保存されます。

接続がタイムアウト 10 秒 ▼

ログ保存期間 一ヶ月 ▼

ショートカット形式 JPG ▼

スクショ保存先 D:\ ▼

☒ 登録せずにソフトウェア画面に入る

☐ ソフト起動時、自動的に全ての設備に接続

☐ システムが起動したらプログラム自動作動

単一スクリーン画面数 16画面表示 ▼

表示モード Direct 3D ▼ 適用 保存

パスワード

設備初期パスワード追加 ***** 保存

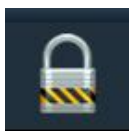
⑥ ログ



【上級者用項目】

本ソフト上での操作・システム・アラーム作動状況の履歴を表示します。

⑦ ログアウト



ログアウトするアイコンです。

⑧ システム終了



本ソフトウェアを閉じます。

9.動き検知録画（動き検知録画）作動条件

動き検知または動き検知録画は以下の条件の動態状況で作動します。

動き検知録画設定は【P37】-「10.動き検知録画（動き検知録画）設定方法」をご覧ください。

●動体検知録画

当カメラの動体検知録画機能は、映像上で何も動きが無い場合は

【録画停止状態が続きます。】

映像上で何か動きがあった場合、

【録画を開始します。】

当然、動体検知録画ではなく

【常時録画】も可能です。

●本機カメラから動体検知の有効距離●

検知距離	小刻み動作 の場合	歩行などの 極端動作	車両など の走行
0m以上 2m未満	○	○	○
2m以上 5m未満	○	○	○
5m以上 8m未満	×	○	○
8m以上 20m未満	×	×	○

※検知感度レベルは最大値100の場合

結果、SDカードのメモリの節約により録画の足掛け日数増大！



動体検知録画は以下の構成になります。

- 1度検知し、録画がスタートすると12秒録画を行います。
- 連続の動体検知は継続して録画を行います。そして最後に検知してから12秒後に動体検知が終わります。
- microSD カードのファイルは1ファイル12秒になります。



ご注意

上の表は目安値です。
設置環境（明るさなど）により、
検知レベルは異なる場合があります。
設置環境毎の事前テストの上、
本設をお願い致します。

10.動き検知録画（動き検知録画）設定方法

動き検知録画は基本的に、

- ・ 通常録画は行わない。
- ・ 映像上に何か動きがあった場合のみ録画する。
※動き検知条件は【P36】参照。

という動作を行います。本項ではこの設定方法の説明です。



[1] → [2] → [3]「設定しよとするカメラ選択」 → [4] の順でマウス操作・クリックしてください。

[5] : 「動き検知」のチェックボックスにチェックを付与します。
「感度」は「普通」を選択してください。
直近「適用」をクリックします。

[6] : 必ず両方「OFF」にしてください。
直近「適用」をクリックします。

[7] : 「SDカードに動画を保存」のチェックボックスに
チェックを付与してください。
直近「適用」をクリックします。

[8] : 「SDカード」をクリックし、「スケジュール録画
を有効」のチェックボックスを外します。
直近「適用」をクリックします。

[9] : 「動き検知」をクリックします。【P37】-「動き検知」をご覧ください。

- 1度検知し、録画がスタートすると15秒録画を行います。
- 連続の動き検知は継続して録画を行います。そして最後に検知してから15秒後に動き検知が終わります。
- microSDカード内のファイルは1ファイル15秒になります。

11.本機カメラアラーム作動時における画像メール送信機能の設定方法

【P28】-「●アラーム連動/○メールに画像を添付して送付」の設定方法の説明です。

この機能は、本機がアラーム作動（動き検知など）したとき、その瞬間のカメラ映像をスクリーンショットして、自動的に指定したメールアドレス先に画像を送る事ができます。

この設定項目の「E-mail設定」をクリックすると以下入力設定ウィンドウが開きます。

ここでの例はyahooのフリーメールを使用して設定例をご紹介します。

- SMTPサーバー
利用先メールサーバーを指定します。
- サーバーポート
利用先サーバーポートを指定します。
- ユーザー名
登録済みのyahooメールアドレスを入力します。
- パスワード
登録したyahooIDに対してのパスワードを入力します。
- 受信先
画像を送付したいメールアドレスを入力します。
- 送信先
差出人メールアドレスを入力します。
- 件名
メールタイトルを入力します。
- メモ
本文を入力します。

※ 設定入力後は「検証」をクリックして試験してください。
その後「適用」で設定内容を確定・保存してください。

12.本機のIPアドレスの変更（固定化）方法（上級者向け）

STEP1 本機にアクセスしようとするパソコンに下記URLのプラグインソフトをダウンロード・インストールしておく。

https://www.elexsystem.co.jp/soft/ClientPlus_Setup.exe

STEP2 本機とパソコンをLANケーブルで接続の上、パソコン側のネットワーク設定（コントロールパネルより）を行い、パソコンで本機にアクセスできる状態（PING疎通が取れている状態）にする。
出荷時本機IPアドレスは「192.168.1.88」です。

STEP3 Microsoft Edgeで本機IPアドレスをURL欄に入力し、アクセスする。

※ IEモードでのアクセスが望ましいです。

STEP4 IDとパスワードを要求してきますので、

ID:admin PW:admin ※ 出荷時設定
でログインしてください。

ここまでで、本機IPとログイン情報が不明な場合は、本機側のリセットボタン長押しで本機を初期化する必要があります。

リセットボタンは本機のケーブル3本のうち、1本が小さいボタンが蓋でふさがれている箇所があります。その小さいボタンを長押しすると本機から音声が流れますので流れたら初期化成功です。

STEP5 アクセス後のトップ画面で「PCview」をクリックすると、ライブ映像と左サイドにメニューが表示されています。以下画面で、[1]～[5]をクリック・選択し、[6]で任意のネットワーク情報を入力してください。最後は[7]で、確定・保存になります。

192.168.1.88/web/admin.html

IP CAMERA

Monitor **Settings** 1

Media 2

Network 3

Network 4

wireless 5

Ddns 6

ONVIF 7

P2P

Alarm

Advanced

System

LAN Settings

IP Configuration Type: Fixed IP Address

IP address: 192.168.1.88

Subnet mask: 255.255.255.0

Gateway: 192.168.1.1

DNS Configuration Type: Manual DNS

Primary DNS: 192.168.1.1

Secondary DNS:

HTTP&RTSP

HTTP Port number: 80 (80 or 1024~49151)

RTSP Port: 554 (554 or 1024~49151)

RTSP Permission check: ☐ On ☒ Off (Note: Modify the settings, reboot)

7 Apply Cancel



その他のご説明については本書の表紙のQRコード欄をご覧ください、目的別に説明書をダウンロードしてください。

